



農業センター君



農業技術センター栽培メロン、寄贈

広報7月号に清月にあるセンター試験圃の概要を紹介しました。その中で研修圃には品種特性試験地域適応性試験・自主研修・産業祭販売用と多岐にわたった目的で栽培しています。

今年試作的に栽培したメロン(品種：マルセイユ)は大きく綺麗に仕上がりに、甘さも十分。販売等はせずに3施設に寄贈しました。食べて皆さんが元気になってくれたら幸いです。



《社会福祉協議会》



《特別養護老人ホーム「テルケア」》



《双葉保育園》



《町長にも味見を》

お待ちあれのハロウィン南瓜におもちゃ南瓜

上記メロンのほかに、今年は「ハロウィン南瓜」「おもちゃ南瓜」を栽培しています。ハロウィンはアメリカの行事のひとつになっていますが、「魔除け」の意味合いを持ったイベントで、北海道の七夕習わし「ローソクもらい」みたいなものでしょうか。

(詳細は割愛します)

日本にはあまりなじみの無い行事ですが、最近は南瓜を飾る家や施設が増えています。厳選した数個を団体へ寄贈したいと思います。



農業技術センター10月の予定表

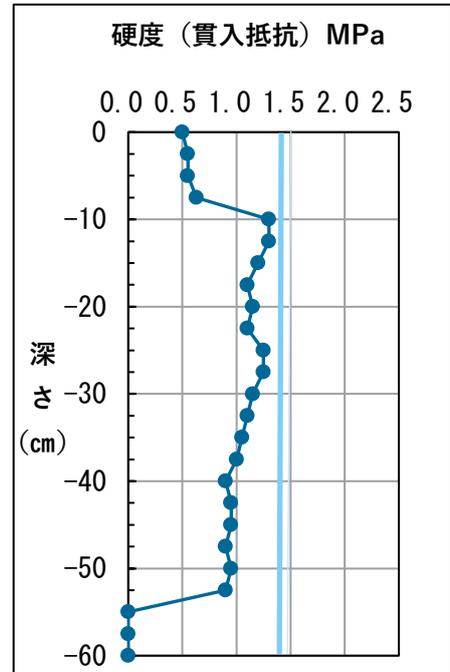
10月上～中旬	試験圃・研修圃等の作業 長ネギ・タマネギ収穫調製 サツマイモの収穫調製	試験作業 ソバ試験の脱穀調製 薬用植物生育調査	
10月下旬	農産物販売予定	薬用植物収穫調製	

町内でも優良な「センター花壇のキタワセソバ」

9月号では「ほろみのり原種栽培が生育良好」と掲載しましたが、農業技術センター花壇のソバも生育良好です。花壇のソバは昨年ピンク色でしたが、幌加内高校からいただいた花の苗や自家採種した花の色合いを考え、今年はキタワセソバを播種。

9 / 10頃に黒化率70%に達し、花房も多く、町内有数(?)の高収量になるでしょう。原種栽培のようにかん水はしてません。なぜかと言うと、生育旺盛で土壌は粘質が強くない「植壤土」であること。

そして、深さ50cmまで土の硬さを調べたのが右図の土壌硬度調査ですが、根や水が通りづらい部分(Mpa1.5以上)がありません。雨がなくても地下から水を吸えるし、根張りも良いのです。干ばつに負けない畑の見本でしょう。



これより右は硬い!

農業技術センター

ワンポイント[!] 知恵袋!

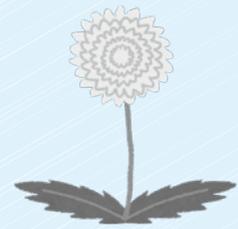
テーマ:身近な生薬①

《タンポポの効用》

よく「根を乾燥させて炒るとコーヒーの代わりになる」と言われるタンポポ。在来種と「セイヨウタンポポ」があり、春しか咲かないのは在来でそれ以外は「セイヨウ」のようです。

さて、この「コーヒーになる」以外に「生薬」としての効果があるのをご存じでしょうか?

ここでは主流になっている「セイヨウタンポポ」について記載します。



処理の仕方: 根ごと引き抜いて是根を含めた全部を掘り上げて水洗いし、2~3mmに刻んで天日干しして乾燥したら出来上がりです。

効用: 健胃、強壮、解熱、利尿、貧血、血液の浄化に加えリラックス効果があるとされています。利尿作用からむくみにも効果があるようです。

使い方: 乾燥したもの5~10gを水500ccに入れ、半量まで煮詰め、1日3回に分けて服用します。生の根をワインに3日ほど漬けて飲むと解熱作用アップになる。

*効用については文献によって諸説ありますが、概ね上記が主になっています。